



将来のCFO輩出も視野に

財務・経理部員の 「育てる」を考える

第1部 財務・経理部門の現状と業務領域の変化

第2部 財務・経理部員の人事・育成・キャリア形成

第3部 財務・経理部門のグローバル化への対応

石井 文範(株)ミスミグループ本社 ファイナンス室 副ジェネラルマネジャー
石川 一志(サントリービジネスエキスパート(株) 執行役員経理センター長)
柏倉 秀亮(日本たばこ産業(株) 経理部長)
●司会 松田 千恵子(首都大学東京大学院 教授)

財務・経理部門は、会計ビッグバン以降、多くの改正会計基準やJ-SOXへの対応など、目まぐるしい環境の変化を経験してきた。しかし、こうした変化に伴う業務量の増大にもかかわらず、日本経済の景気低迷の影響を受け、財務・経理などのいわゆる管理部門は人員削減を余儀なくされた。日々の業務で手一杯になるなか、次第に財務・経理パーソンを「育てる」ことが難しくなった。

いま、企業のグローバル化が進み、IFRSの任意適用を検討する企業も増えると予測され、再び、財務・経理部門には新たな対応・変化が求められる時代が到来している。変化に耐え得る人材を育成する必要性が生じているのである。そこで、財務・経理部員をどう「育てる」か。試行錯誤している企業も多いと思われるが、3社が語る「育てる」をヒントに、自社の「育てる」を考えるきっかけにいただければ幸いである。